

平成25年政策評価推進計画書

基本目標	犯罪の起きにくい社会づくりの推進
施策名	少年の非行防止・保護総合対策の推進
施策目標	少年の非行防止・少年の立ち直り支援対策、犯罪等からの少年の保護及び児童虐待への適切な対応
施策設定の背景	<p>本県における刑法犯少年の検挙人員は、平成16年をピークに減少傾向にあるものの、社会の耳目を集める凶悪・悪質な少年事件の発生は後を絶たず、また再非行者の占める割合は、ここ数年3割と横ばい状態であります。</p> <p>こうした情勢から、検挙・補導活動を始め、官民一体となった広報啓発活動や問題を抱える少年に対して警察が積極的に手を差し伸べる立ち直り支援活動など、「非行少年を生まない社会づくり」を中心とした少年の規範意識を醸成するための諸対策を、推進する必要があります。</p> <p>この他、児童ポルノ事犯や児童虐待事案情報件数の増加、学校におけるいじめ問題等、少年を巡る情勢は依然として厳しく、次代を担う少年の健全育成を図るため、引き続き少年の非行防止と保護の両面にわたる総合的な対策の推進を図る必要があります。</p>
実施項目	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少年の非行防止・少年の立ち直り支援対策の推進 ○ 犯罪等からの少年の保護対策の推進 ○ いじめを含む児童生徒の問題行動等に対する学校と連携した的確な対応の推進 ○ 児童虐待事案に対する適切な対応の推進
実績(成果)指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少年に手を差し伸べる立ち直り支援実施状況 ○ 非行防止教室及び薬物乱用防止教室開催状況の推移 ○ 福祉犯検挙状況の推移 ○ スクール・サポーター派遣要請校数及び派遣校数の推移 ○ 児童虐待事案状況の推移
参考指標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪少年(刑法犯・特別法犯)検挙人員の推移 ○ 刑法犯全検挙人員に占める少年の割合の推移 ○ 刑法犯少年再非行者率の推移 ○ 少年人口比の推移 ○ 不良行為少年の補導人員の推移
施策主管課 政策評価担当課	生活安全部少年課 生活安全部生活安全総務課